

第4回 情報推進常任委員会会議録

令和5年12月5日(火)
委員会 議室

○会議日程

- 1 開会宣告(14時10分)
- 2 協議事項
 - (1) こども議会について
 - (2) 町民との懇談会について
- 3 閉会宣告(14時19分)

○出席委員(8名)

委員 長	3番	深澤	博幸
副委員 長	2番	佐藤	忠志
委員	1番	高橋	秀明
委員	4番	高橋	秀之
委員	5番	植村	敦
委員	6番	無量谷	隆
委員	7番	齋賀	弘孝
委員	8番	西澤	裕之

○議会事務局出席者

事務局 長	岡田	英樹
事務局 次長	藤田	秀紀
主 任	横山	薫

深澤委員長

本日の出席議員は8名です。

定足数に達しておりますので、ただいまより、第4回情報推進常任委員会を開会します。本日の調査事項ですが、今年度のこども議会について、皆さんからの御意見をいただきたいと思ひます。

意見のある方は、挙手の上、指名を受けてから発言してください。

それでは、何か御意見ありませんか。

(無言)

ないようでしたら、来年度に向けて、事務局より説明申し上げます。

岡田事務局長

それでは、お手元にこども議会の質問についてということで、1枚もの紙を配布しているんですけども、今年度の子ども議会の質問が一つの課に集中しておりましたので、来年度に向けて、質問が偏らないように、別紙のとおり、各課の業務内容をまとめたものを中学校に送付しております。

それで、来年度の中学校3年生の担任が、また、年度変われば、担任も変わる可能性もありますので、新しく3年生の担任になられた先生に引き継いでもらえるように、中学校のほうには依頼しております。

それで、新年度が始まりましたら、また改めて、こちらのほうから中学校へ、質問が分散されるように依頼をしたいと思っております。事務局から以上です。

深澤委員長

ただいまの説明に対して、御意見ございませんか。

西澤委員

例えば、各課分散するというのは分かるんですが、課によっては、産業建設課などは、これだけの数があります。それは、質問事項は、それぞれ変わってくるんですが、産業建設課に、それでも集中してらるっていうふうに捉えるのか、それは、項目がそれぞれ違うので、たまたま産業建設課に集中してしまったって捉えるかで変わってくると思うんですが、どこまでの分散を事務局が求めているんでしょうか。

岡田事務局長

イメージとしては、今年度の質問の作成の時に、皆さん中学校に行き、アドバイス等をしてもらったんですけども、その時に班に分かれて、それぞれの班に付いてもらってアドバイスしてもらったと思うんですけども、学校のほうで、各班に分かれて、何課何課の中の課題を班で考えてもらって、それに対して質問するっていう方法が一番良いのかなと思ひますので、この中から好きなものを選べとなると、また、産業建設課に集中してしまうと思ひますので、例えば、総務企画課のこの質問をやりたいたいというような生徒が、大体、4人とか5人程度になるように、中学校の先生のほうで、分散してもらいたいような、そういう方法がいいのかなって考えています。

西澤委員

はい。

深澤委員長

ほかに。

齋賀委員

子供の質問を答える町部局は、子供の質問に対して、どう思っているんですかね。
何かそういう答えを聞いたことはないんですか。

こういう質問は、町は行政なんだから、物を売るとかなんとかを答えるのは難しいんじゃないかなと私は勝手に思ったんですけど。

町部局は、何も子ども議会の質問について、もっと議会のほうで、こういうふうな質問になるように指導したらいいんじゃないかとか、そういう案というのは上がってこないんですか。

岡田事務局長

確かに、実現できるかどうかという最近の質問内容で見ますと、こういうふうにしてほしいっていう要望の質問が多いので、それが確かにできるかどうかっていうのは、各課のほうで判断することは難しいと思うんですけど、でも、そういう意見に対して、こういうのはやめてほしいというのは、特にないんですけども、他団体の質問ですとか、例えば、国道ですとか、道道ですとか、今回出ていました西天北五町衛生施設組合の質問だとか、そういうものは、ちょっと答えづらいっていうのがありましたので、町の業務内容に沿っているのであれば、ここはちょっと答えづらいものもあるんですけど、町の質問に対しては、答えてくれるという感じですね。

齋賀委員

質問の内容は、今回のような質問、大歓迎というか、歓迎してるよっていう感じなので
すか。

岡田事務局長

質問の内容については、特に、何も言ってなかったんですけども、やはり、観光関係ですとか、特産品ですとか、一つの課に固まってしまうところが、通常業務をやりながらでするので、そこが課長の負担になっているっていう苦情は出ていました。

齋賀委員

分かりました。

深澤委員長

私の見解なんですけどね、町部局は、一応、子ども議会っていう認識で、答弁書を書いてるじゃないかという気がするんだよね。

我々、本会議で質疑するようなことではないって多分認識してるんじゃないかなと思うんだけど。ちなみに、今回、再質問はなかったですか子供達から。

岡田事務局長

打合せのときには、この場では再質問しないということで、後日、再質問があれば、文書を出して下さいっていうことでお話はしていたんですけども、今現在、こちらのほうには、再質問はきていませんので、また、ちょっと改めて再質問があるかどうか、中学校には、確認したいと思います。

深澤委員長

ほかに。

(「ありません」の声あり)

ないようでしたら、町民との懇談会についてですが、昨年度は、コロナ禍で、町民との懇談会をしばらく開催していなかったとのことですが、今年度、町民との懇談会は、どのようにしたら良いか協議をしたいと思います。やるのかやらないのか。

何か御意見ありますか。

西澤委員

後ろ向きっていうふうに捉えられなければいいんですが、この時期、これから関係団体を抽出して、懇談会をするというのはかなり厳しいのかなというふうに私個人的には思っています。

来年度に向けて、これからどのような課題でどのような団体とやっていくかという話であれば、できるかなというふうには、個人的には思っていますが、皆さんの意見次第だと思っています。

深澤委員長

今、西澤委員の御意見に同意する方、反対する方おられましたら、発言をお願いします。私も西澤委員と同調して、今年度は、時間的に無理なんで、来年度、何十回というわけにはいかないけど、1、2回程度はやったほうが、議会の活動してよろしいんじゃないかと思うんですけど、その辺はいかがでしょうか。

(「いいですよ。」の声あり)

いいですよという意見ありましたので、事務局と相談しながら、来年度に向けて、開催時期・団体を含めて、今後、皆さんに御相談を申し上げたいと思います。

ほかに御意見ありませんか。

(「ありません」の声あり)

ないようですので、以上で第4回情報推進常任委員会を終了いたします。

(14時19分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 深澤博幸

以上、記録する。

事務局次長 藤田秀紀